仕　様

型　　式		R-S37BMV・R-S37BMVL・R-S37BMV-1・R-S37BMVL-1
種　　類		冷凍冷蔵庫
定格内容積		365L
	冷蔵室	220L
	野菜室	72L〈 43L 〉
	冷凍室	73L〈 46L 〉
外形寸法		幅590mm×奥行625mm(ハンドル含まず)×高さ1,798mm
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力		97W
電熱装置の定格消費電力		150W(霜取り時)
年間消費電力量		冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質　　量		69kg

部　品

冷　蔵　室

- 高さかわるん棚… 1
- うすいん棚……… 2
- たためるん棚…… 1
- 固定棚…………… 1
- 真空チルドケース… 1
- 卵ケース………… 1
- ポケット(上段右)‥ 1
- 高さかわるポケット(上段左)… 1
- ポケット(中段大)… 1
- ポケット(中段小)… 1
- ジャンボダブルポケット… 1
- 給水タンク……… 1

野　菜　室

- 野菜ケース ………… 1
- スライド小物ケース… 1

冷　凍　室

- スライドケース…… 1
- アイススコップ…… 1
- 下段ケース……… 1

●「定格内容積」は、日本工業規格(JIS　C9801)に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
●〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室(野菜室、冷凍室)の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
●霜取りは1日1～2回程度、1回の霜取り時間は20～30分程度です。
●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

冷蔵庫の消費電力量について

■年間消費電力量は、JIS C 9801(2006年版)で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

	JIS C 9801(2006年版)消費電力量測定方法			
種　　類	冷凍冷蔵庫「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	－18℃以下	4℃以下	4℃以下	－18℃以下
扉開閉回数	8回／日	35回／日	35回／日	8回／日
周囲温度	30℃及び15℃			
周囲湿度	30℃測定時：70±5% 15℃測定時：55±5%			
消費電力量の表示	JIS年間消費電力量(kWh／年) (周囲温度30℃測定による1日当りの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当りの消費電力量185日分の合計)			

愛情点検

●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	型式	
購入店名	電話　(　　)		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話(03)3502-2111

R-S37BMV
R-S37BMVL
R-S37BMV-1
R-S37BMVL-1

R-S37BMV・R-S37BMVL
R-S37BMV-1・R-S37BMVL-1

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

日立冷凍冷蔵庫

家庭用

型式 R-S37BMV(右開き)
型式 R-S37BMVL(左開き)
型式 R-S37BMV-1(ハイフン・イチ)(右開き)
型式 R-S37BMVL-1(ハイフン・イチ)(左開き)

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は**家庭用**です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」➔ P.2～4 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご購入後、初めてお使いになるときは、冷えるまで約4時間から24時間以上かかることがあります。 ➔ P.5

収納できる食品の高さを守り、食品はすき間をあけて収納してください。 ➔ P.5,10,11,14,15

保証書別添付

もくじ

日本国内家庭用
Use only in Japan

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

設置するとき

■水のかかるところには設置しない。

絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

■湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース(接地)・漏電遮断器を取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。
(☞ 7 ページ)

■地震に備えて転倒防止処置をする

転倒し、けがの原因になります。
(☞ 6 ページ)

電源や電源プラグ・コードは

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火する原因になります。

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- タコ足配線、延長コードは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、冷蔵庫で押しつけたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

■電源プラグのほこりは定期的に取る

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ぬれた手で 電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

■電源プラグはコードが下向きになるようにし根元まで確実に差し込む

逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■冷蔵庫のお手入れの際は必ず電源プラグを抜く

感電やけがをすることがあります。
(☞ 19 ページ)

- 必ずプラグを持って抜いてください。

⚠警告

冷媒について(可燃性ガスを使用していますので、次のことにご注意ください。)

■冷蔵庫本体に ねじ等の鋭利なもので冷媒配管を傷付けない

可燃性の冷媒を使用しているため、漏れると発火・爆発の原因となります。

■冷媒配管を傷付けたときは冷蔵庫から離れ火気や電気製品の使用を避ける

傷付けたときは窓を開けて換気し、販売店または修理受付窓口0120-3121-68にご連絡ください。

■冷蔵庫の周囲はすき間をあけて設置する(☞ 6,7 ページ)

冷媒が漏れた場合に滞留し、発火・爆発の原因になります。

■庫内では電気製品を使用しない

冷媒が漏れると、接点の火花により発火・爆発の原因となります。

■廃棄処分するときは販売店や市町村に引き渡す

冷媒が漏れると発火・爆発の原因となります。

ふだんご使用のとき

■冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の原因になります。

■自動製氷機の機械部には手を触れない

製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

■薬品や学術試料を保存しない

厳しい管理の必要なものは、家庭用冷蔵庫で保存できません。

■冷蔵庫の上にものを置かない

扉の開閉などで落下し、けがをすることがあります。

■可燃性スプレーを近くで使わない

ドアスイッチなどの電気接点の火花で引火する危険があります。

■本体や庫内に水をかけない

電気絶縁が低下し、感電・火災の原因になります。

■引火しやすいものは入れない

ベンジン・エーテル・LPガス・シンナー・接着剤などは引火爆発する危険があります。

■扉にぶら下がったり引き出し扉に乗ったりしない

倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。

廃棄するとき

■リサイクルのときなど保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合はドアパッキングをはずす

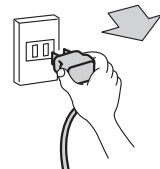
幼児が閉じこめられると危険です。

- ドアパッキングは引っ張るとはずれます。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

もしものとき

■製品の異常や故障のときは電源プラグを抜き 運転を中止する

感電やけがをすることがあります。

■分解・修理・改造は絶対にしない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

● 分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

■可燃性ガスが漏れているときは冷蔵庫に触れず窓を開けて換気する

ドアスイッチなどの、電気接点の火花で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

⚠ 注意

ふだんご使用のとき

■ジャンボダブルポケット前列には 底まで入らないビン類は入れない

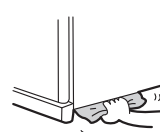
大きなビン類などを無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをすることがあります。

■食品は棚より前に出さない

ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをすることがあります。

■冷凍室にビン類を 入れない

中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

■冷蔵庫底面に手を入れない

清掃するとき、底面に手を入れると鉄板で手を切ることがあります。

■においったり 変色した食品は食べない

腐敗により、病気の原因になることがあります。

■冷凍室の食品や容器をぬれた手で触れない

凍傷になることがあります。（特に金属製のもの）

■２つ以上の扉を開くときや他の人が冷蔵庫に触れているときは 扉で指をはさまないか確かめる

扉と扉のすきまに指をはさみ、けがをすることがあります。

■引き出し式の扉を閉めるときは上面を持たない

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

■最下段の引き出し扉を開けるときは 冷蔵庫に足を近づけすぎない

扉を引き出したとき、足の甲などに当たり、けがをすることがあります。

移動・運搬のとき

■傷付きやすい床の上では 冷蔵庫下部の移動車輪は使用しない

移動車輪により床材を傷付けることがあります。

● 傷付きやすい床では保護用の板などを敷いてください。

注意して!!

■運搬するときは 運搬用取っ手を持つ

取っ手以外を持つと手がすべってけがをすることがあります。（☞ 26 ページ）

● 安全上、2人以上で運搬してください。
● イラストのように、扉を上にして運搬してください。
● 取っ手をクレーン等で吊らないでください。

使いはじめ

● 冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

はじめに

① 庫内を清掃する

しめらせた柔らかい布で清掃する。

● 冷蔵室扉ポケット付近に小さな穴が空いていますが製造上必要なものであり、異常ではありません。

② 専用コンセントに接続する

電源100V
定格15A以上

庫内が冷えている場合は、10分後に運転を開始します。

③ 庫内が十分冷えてから食品を入れる

冷蔵庫の周囲の温度や食品の収納状態によって庫内が十分冷えるまでに4時間から長いときには24時間以上かかることがあります。

上手な食品の入れかた

すき間をあける

詰め過ぎると、冷気の流れが悪くなります。

食品は清潔に

食品には、意外に多くの汚れが付いています。

MILK
とうふ

食品は冷ましてから

温かい食品を入れると、庫内の温度が上がり、電気代のムダになりますので、冷ましてから入れることをおすすめします。

冷気の吹き出し口をふさがない

冷気の流れが悪くなります。また、食品が凍ることがあります。特に缶飲料を奥に入れると破裂することがありますので、十分注意してください。

密閉して

ラップや密閉容器を利用すれば、乾燥やにおい移りを防げます。

新たな食品を重ねない

冷えていた食品の温度が上がります。

こんなときには　使いはじめ

冷蔵室側面および床や周辺が熱くなり、足元から暖かい風が出る	庫内の熱をファンや放熱パイプで庫外に逃がしているためです。使いはじめや夏場は50～60℃になることもありますが、安全上、性能上は問題ありません。
庫内がにおう	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。
扉を開けるときしむ音がする	扉を開けると庫内温度の変化により部品がきしみ、ピシッと音がします。また、扉が閉まっていても同様の音がすることがありますが、異常ではありません。
プラスチック部品に、ひっかき傷のような細い線が見える	細い線はウェルドラインといい、部品の成形時に発生するものです。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく、割れに至ることはありません。

設置のしかた

■本冷蔵庫は屋内で使用してください。

ムダな電気代や
騒音をおさえるために、
正しく安全な設置を！

万一の地震にそなえて

- ●「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」を２個ご使用いただき、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。
- ●別売部品：「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」（部品番号R-826CV 300：1本入り）詳しくは販売店にご相談ください。

周囲に十分な放熱スペースをあける

最低 左右0.5cm以上、上部5cm以上

- ● 冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲から熱を逃がしています。効率良く冷やすために、周囲に十分なすき間をあけてください。また、万一冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因にもなりますので、最低でも左右0.5cm以上、上部5cm以上（冷蔵庫の天井面から）のすき間をあけてください。
- ● 本体側面中央では、表示寸法より若干大きめになっていますので、放熱効率のためにも設置寸法は余裕をもってご準備ください。
- ● 背面は壁に付けられますが、振動音がするときや、**壁の材質によって変色する恐れがあるとき**（圧縮機周辺の空気がほこりを伴って上昇するため）は、壁から離してください。
- ● 冷蔵庫の上に、ものを置かないでください。
- ● 特に夏場は冷蔵庫の足元が熱くなりますが、放熱のためですので異常ではありません。

熱気・直射日光の当たらないところ

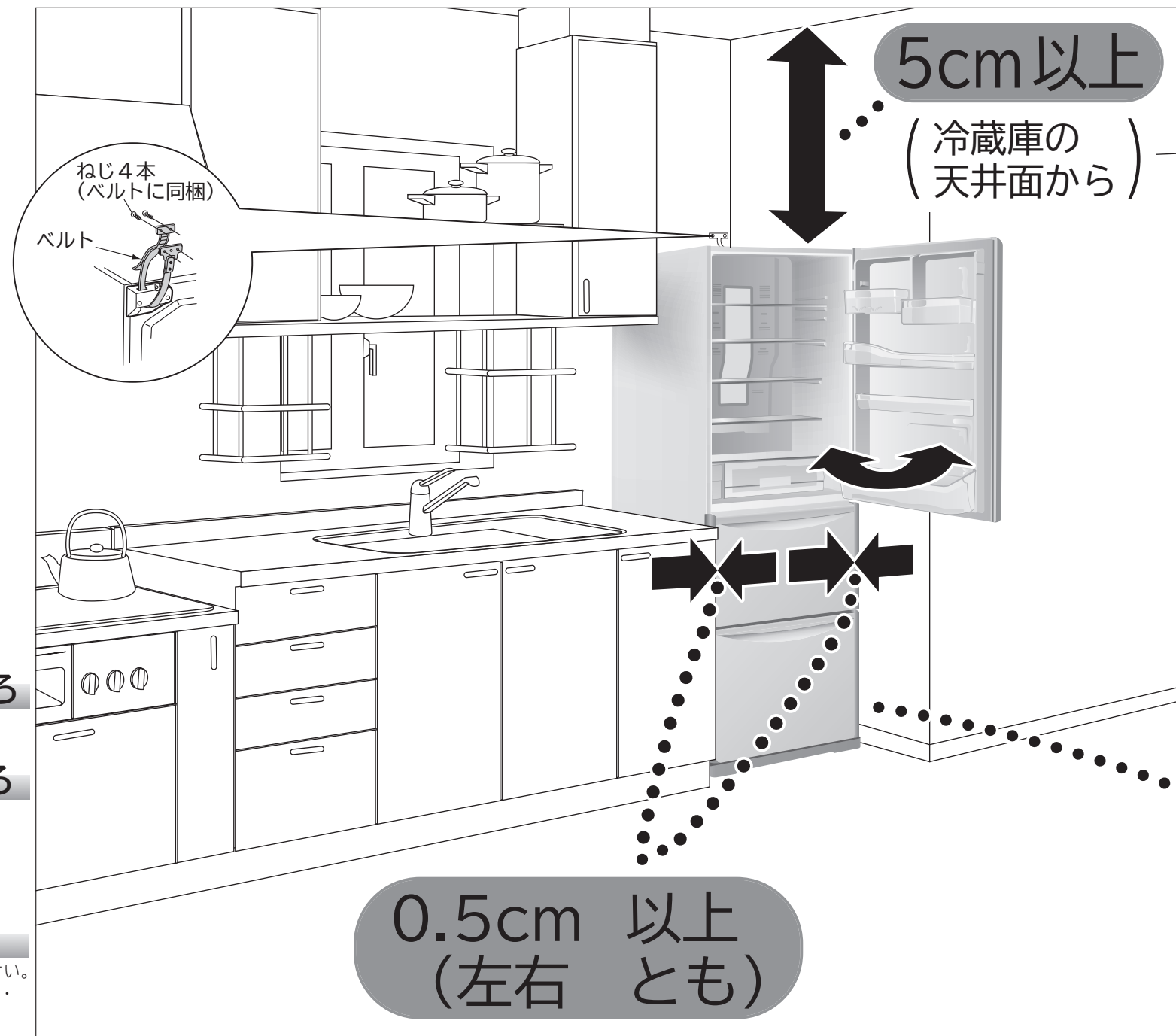
- ● 冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。
- ● 直射日光はプラスチック部分の変色の原因にもなります。

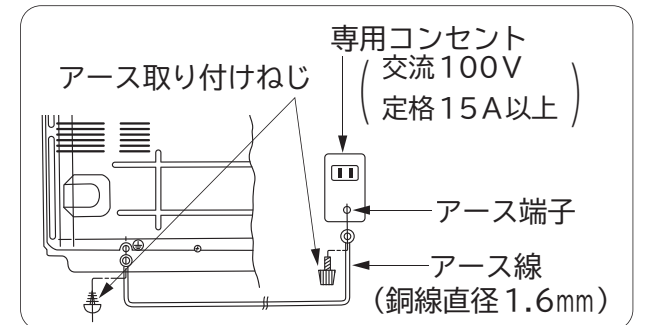
湿気が少なく、風通しのよいところ

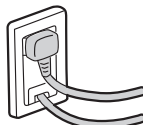
- ● さびの発生をおさえます。また電気代のムダを防ぎます。

※硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

床が丈夫で水平なところ

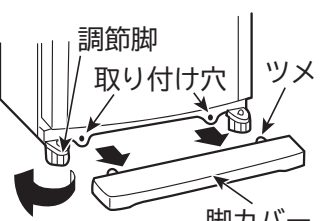
- ●次のような場所では、厚さ1cm程度の丈夫な板を敷いてください。
  - ・冷蔵庫底面の熱により変色、変形することのある、じゅうたん・畳・フローリング・塩化ビニール製の床材など。
  （夏場には、床面が50～60℃になることがあります。）
  - ・冷蔵庫本体が傾くことのある、柔らかい床・弱い床など。

万一の感電防止のためにアースをおすすめします

- ●湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。
- ●別売品：「アース線（2.5m）」
（部品番号 NW-60R6 052）

アース線を接続してはならないところ

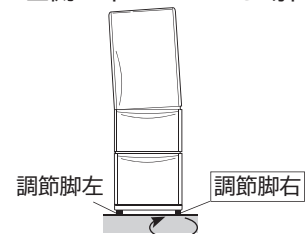
- ●水道管（感電の危険）
- ●ガス管（爆発の危険）
- ●電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

固定のしかた

必ず調節脚を床につけ、水平に固定してください。
扉下がり・騒音・振動を防止します。

1. 脚カバーの両端を持って手前に強く引いてはずす。
2. 調節脚（左右）を矢印の方向に回して下げ、冷蔵庫を固定する。
3. 左右の調節脚を、冷蔵室扉が平行になるよう調整する。
4. 脚カバーのツメ部（左右）を冷蔵庫本体の取り付け穴に差し込み、取り付ける。冷凍室扉を少し開けた状態で行いますと容易に取り付けられます。

調節脚
取り付け穴
ツメ
脚カバー

扉の平行調整は

●左側が下がっている場合

調節脚左　調節脚右

調節脚右を矢印の方向に回して調整してください。

●右側が下がっている場合

調節脚左　調節脚右

調節脚左を矢印の方向に回して調整してください。

- ●調節脚を回す量は、扉段差1mmにつき１回転を目安にしてください。
- ●冷蔵庫本体が床になじみ、扉が平行に直るまでに、ある程度の日数（1～5日）がかかる場合があります。
- ●それでも傾きが直らないときは、別売品：「扉調整プレート」（部品番号 R-Y6000 500）をお使いください。

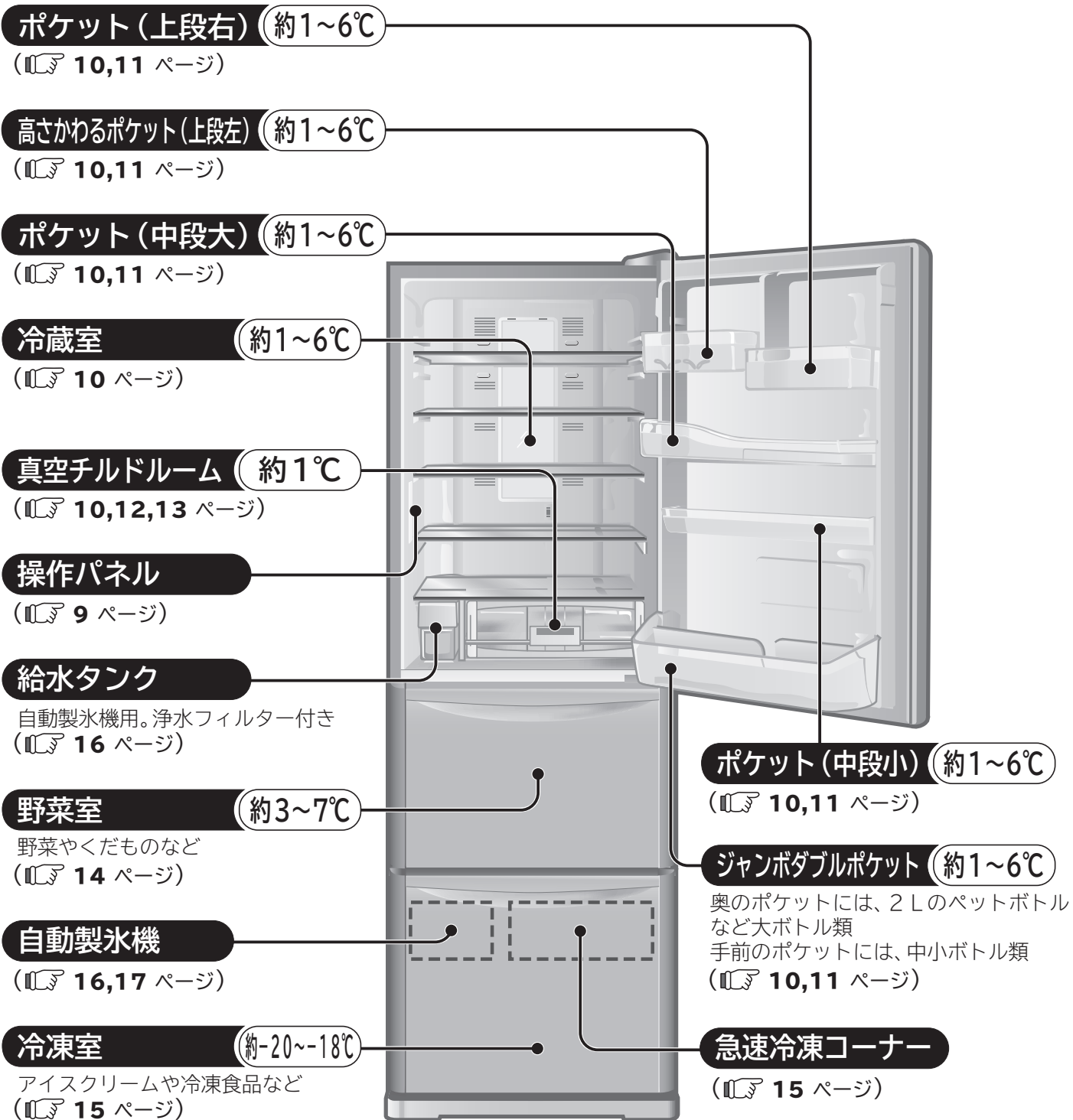
⚠警告

■ **冷媒回路（配管）を傷付けない**
可燃性の冷媒を使用しているため、漏れると発火・爆発の原因となります。

■ **冷蔵庫の周囲はすき間を空けて設置する**
冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因となります。

お願い

● 冷蔵庫の設置状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このようなときは、冷蔵庫の本体および電源コードと他の機器をできるだけ離し、**冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。**冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

特長と食品の貯蔵場所

省エネ&ハイパワー

インバータ制御による各室の温度変化に合わせた細やかな運転で、電気代のムダを抑えます。

ナノチタンで除菌力アップ

ナノチタン除菌

優れた除菌効果を発揮する酸化チタン

ドアアラーム

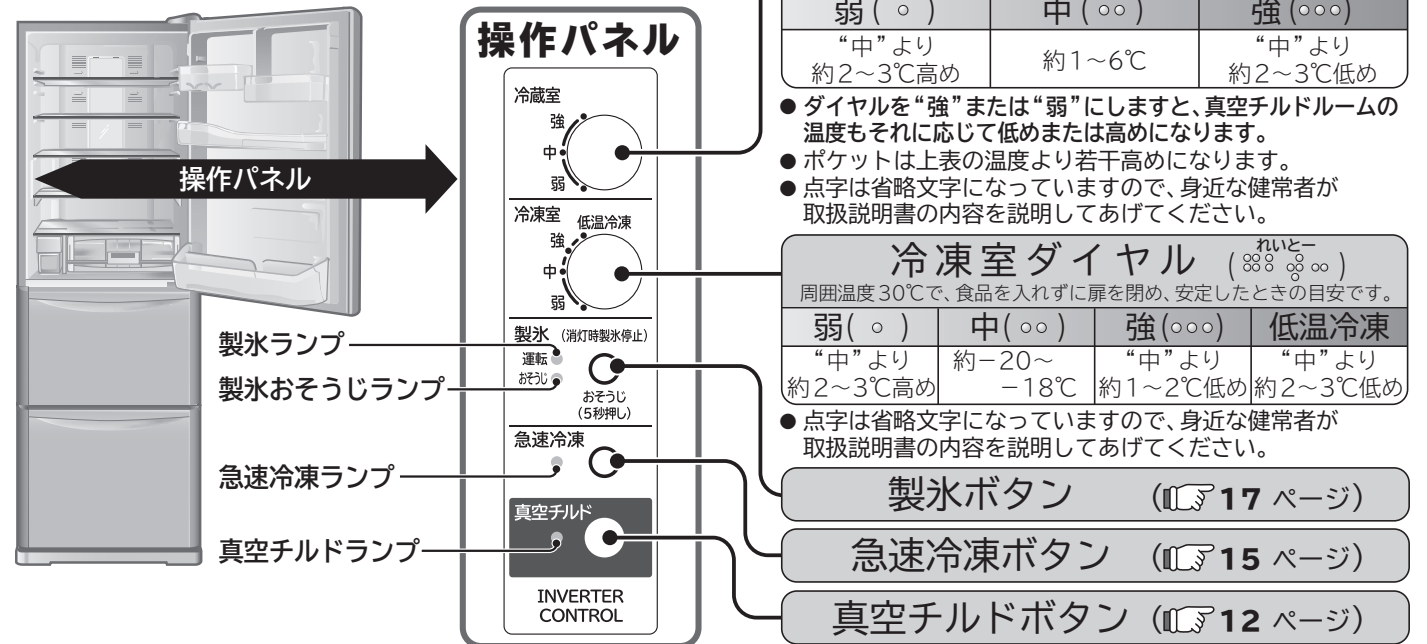
ドアの開放状態が1分以上になると、下表のようにアラームが鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。

扉の開放時間	アラーム音
1分後	ピーッピーッピーッ
2分後	ピーッピーッピーッピーッピーッ
3分後以降	連続で鳴り続けます。

ドアアラーム機能は、冷蔵室、冷凍室についています。
(野菜室には対応していません)

●温度は、周囲温度30℃、各室温度調節を「中」にして、食品を入れずに扉を閉め、安定したときの目安です。

温度調節・操作パネル

冷蔵室・冷凍室は通常、『中』の位置でお使いください。
温度を変えたい場合はダイヤルを回し、お好みの位置に合わせてください。

操作パネルの「製氷ランプ」が点滅している

故障をお知らせしています。

- 「製氷ランプ」が点滅しているときは、自動製氷機・温度制御または霜取り装置などに異常があることをお知らせしています。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ただし、下表の点滅パターンは、故障でなくても表示する場合があります。
ご相談の前に、下表の内容をご確認ください。点滅が消えれば正常です。

点滅パターン	考えられる原因	ご確認いただきたいこと
3回点滅	●製氷皿や貯氷量検知レバーに、食品などが当たっている可能性があります。	●貯氷コーナーを空にして、「製氷おそうじ」を実施してください。(☞ 17 ページ)
3秒間点灯後 1回点滅	●冷凍室扉が、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷凍室扉がきちんと閉まることを確認し、冷凍室内が十分冷えるまでお待ちください。
3秒間点灯後 2回点滅	●冷蔵室扉が、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷蔵室扉がきちんと閉まることを確認し、冷蔵室内が十分冷えるまでお待ちください。

ドアアラーム入/切

ドアアラームと各ボタンの操作音を鳴らないようにすることができます。

アラームを鳴らないようにするには

1 急速冷凍ボタンを“ピッ”と鳴るまで“約3秒”押しつづける。

2 急速冷凍ボタンを押しランプを消す。

再びアラームを鳴るようにするには

1 急速冷凍ボタンを“ピッ”と鳴るまで“約3秒”押しつづける。

2 急速冷凍ボタンを押しランプを消す。

- 出荷時はアラームが鳴る状態に設定されています。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後はアラームが鳴る状態に戻ります。
- 「急速冷凍」運転中にアラームの入/切操作をすると「急速冷凍」は解除されます。
- 「製氷おそうじ」中のアラーム音は鳴らないようにすることはできません。

お願い 冷蔵室、真空チルドルーム、野菜室の食品が凍結する場合

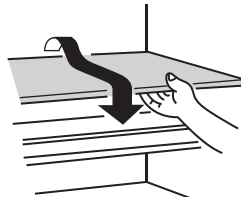
●冷蔵室ダイヤルを“弱”にしてください。
●冷蔵室ダイヤルが“強”のときは、“中”に戻してください。特に“強”設定時には食品や給水タンクの水が凍結しやすくなります。
●冬など、周囲温度が5℃以下のときは、各ダイヤルを“弱”にすると、凍りにくくなります。
●野菜室の底面に葉もの類を寝かせて入れた場合、まれに凍結することがあります。食品包装用トレイなどを敷いて入れてください。
(野菜室は容器の周りから間接的に冷却しており、容器底面の温度が低くなっているためです。)

冷蔵室

■すみずみまでたっぷり収納できる
新鮮冷蔵室

高さかわるん棚（最上段）/うすいん棚（2,3段目）

食品の高さや使い方に合わせて調節できます。

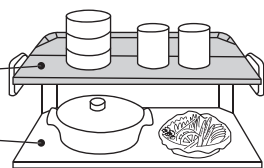
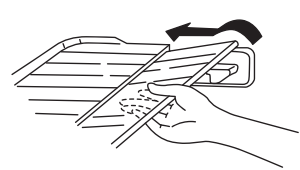
●棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出すと取り出せます。

●お好みの位置に合わせ、棚を奥面に当たるまで押し込んで下さい。

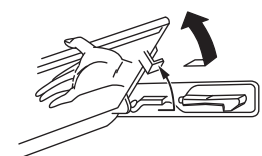
●高さかわるん棚・うすいん棚には13kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

給水タンク（☞16ページ）

（☞16ページ）

たためるん棚／固定棚

●普通の棚として

●手前側に背の高い食品を入れる時は

手前を少し持ち上げて押し込みます。

●背の高い大きな食品を入れる時は

奥まで押し込んだ手前の棚を1cmくらい引いて奥に立てます。

※たためるん棚には10kg以上、固定棚には13kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

真空チルドルーム（☞12ページ）

収納に適した食品

●肉類・加工肉

牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージなど

●魚介類・海産物

あじ・いわし・さんま・いくら・たらこなど

●野菜・果物

野菜サラダ・赤ピーマン リンゴ・オレンジ・キウイなど

●その他

コーヒー豆・茶葉・乳製品・練り物など

収納に注意が必要な食品・容器

●密封袋入り食品

収納中に袋が膨らみ、他の食品をつぶすことがありますのでご注意ください。

ウインナソーセージ・袋入りチーズなど

●プラスチック密閉容器

ふたが浮いたりずれることがあります。取り出すときにご注意ください。

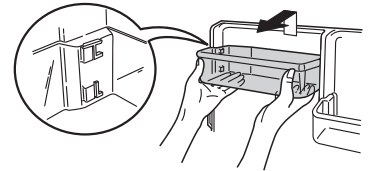
収納に適さない食品

●低温に弱い野菜

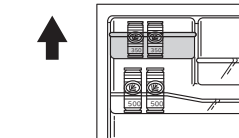
低温に弱く表面がくぼんだり、変色することがあります。

高さかわるポケット（上段左）

移動のしかた

●持ち上げ、手前に引きはずします。

●上へ移動する時は、扉側の上部凸部にポケットささえ部（上）を上から挿入し、下へ下げます。

高さかわるポケットを上へ

上に350mL缶
下に500mL缶が入ります。

高さかわるポケットを下へ

上に500mL缶
下に350mL缶が入ります。

ポケット（中段大）

●卵ケースには、卵を市販のパックのまま入れることができます。

●卵ケースを裏返しにすると、小物ポケットとしても使えます。

⚠注意

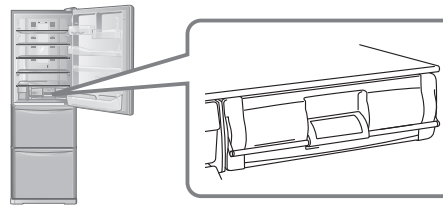
■ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない
落下して、けがの原因になります。

■ジャンボダブルポケットにボトル類を無理に入れない
扉の開閉でポケットがはずれたり、ボトル類が落下して、けがの原因になります。

■棚は決められた位置以外では使用しない
棚のストッパーがきかず、棚や食品が落下しやすくなります。

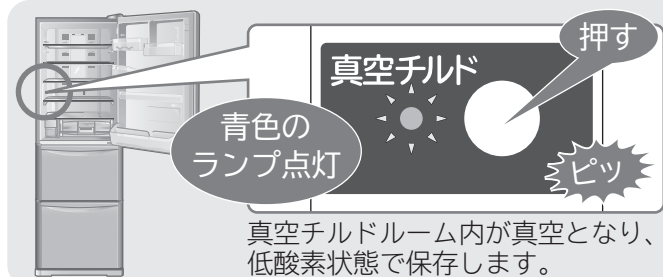
お願い

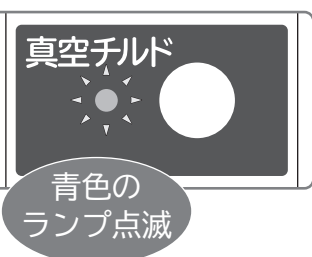
●高さかわるん棚・うすいん棚・たためるん棚にビン類や食品容器を載せる場合は、庫内灯を覆っているランプカバーに強く突き当てないでください。ランプカバーが割れることがあります。
●真空チルドルームの前にはものを置かないでください。チルドケースとジャンボダブルポケットの間にはさまれて、半ドアとなったり、ケースや食品を破損することがあります。
●冷気吹き出し口付近は温度が低くなるので、水分の多い食品や缶飲料は置かないでください。凍結したり、破損する恐れがあります。
●冷蔵庫温度センサの近くに高温の食品を置くと冷蔵室全体の温度が低くなり、食品が凍結する場合があります。センサの近くでは、なるべくすき間を空けて食品を置いてください。
●真空チルドルームに保存する食品の量や種類（水分の多い食品等）によってはケース内に結露・凍結する場合があります。気になるときは乾いた布でふき取ってください。
●真空チルドルームで保存した食品は種類によって凍結する場合があります。食品の凍結を防ぎたい場合には冷蔵室温度調節ダイヤルを“弱”に設定して頂くか、あるいは食品を冷蔵室に移し替えて保存してください。
●真空チルドルームの温度を下げたい場合は、冷蔵室温度調節ダイヤルを“強”にしてください。
●肉・魚を保存するときは、冷蔵室温度調節ダイヤルを“強”にした上で、チルドケースに保存してください。

真空チルドルーム

●真空ポンプによって、容器の中の気圧を下げ、低酸素状態にします。
更にビタミンカセットにより、食品の酸化を防ぎます。
●酸化を防ぐことで、栄養成分や風味を従来よりも長持ちさせることができます。
●食品にラップをしても真空による効果は変わりません。

お使いの準備

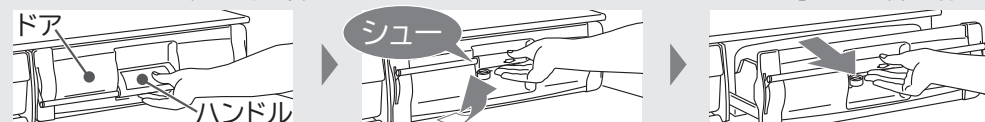
■真空チルドボタンを押して、ランプを点灯させてお使いください。(出荷時は「ランプ点灯」になっています。)

真空チルドルーム内が真空となり、低酸素状態で保存します。

●ランプ点灯中は、真空チルド内の気圧変化を検知して、自動で真空ポンプが動作し、真空を保ちます。
●真空チルド内が真空になっていれば、真空チルドドアを開けるとき「シュー」と音がします。
●通常のチルドルームとして使用するときは、真空チルドボタンを押してランプを消灯させてお使いください。

お知らせ
●真空チルドランプが点滅するときは、真空機能が正常に動作していないことがあります。➔ P.23
●真空チルドルーム内を低酸素状態にするために真空ポンプが動作を始めると、音や振動が起こりますが、異常ではありません。
また、動作中に野菜室の扉を開けると大きく聞こえることがあります。
●収納に適さない食品、収納に注意が必要な食品・容器があります。
➔ P.10

ドアを開けるとき、閉めるとき

開けるとき

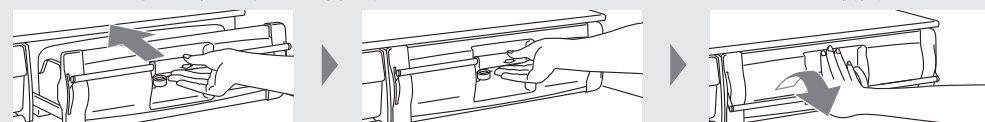
ドアのハンドルに下から手を掛けて、引き上げてロックをはずします。

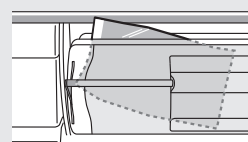
「シュー」という音が消えてから手前に引き出します。

お知らせ
●「シュー」と音が聞こえている間はドアは引き出せません。

閉めるとき

ハンドルに手を当てて奥まで押し込みます。

ハンドルを最後までしっかり下げてドアをロックします。

お知らせ
●ハンドルを最後までしっかり下げないと真空チルドが正常に動作しません。

ご注意
●真空パッキンに食品の包装などがはさまったり、汚れや糸くず、ごみが付着すると真空チルドが正常に動作しません。食品の入れすぎによる、包装のはさみ込みに注意してください。
●冷蔵室ドアを閉めるときは、真空チルドルームのドアを閉じた状態で閉めてください。
ドアが開いた状態で冷蔵室ドアを閉めると、ドアやケース、食品を破損することがあります。

包装のはさみ込みに注意してください。

ビタミンカセット

■低酸素状態のときにビタミンを放出して食品の栄養素を長持ちさせます。
●真空チルドケースを水洗いする際にはビタミンカセットを必ず取りはずしてください。水洗いしてしまうと、酸化防止効果が低下しますので交換をおすすめします。(部品番号R-S37BMV 330)
●ビタミンカセットは、分解しないでください。
●ビタミンカセットは所定の位置に取り付けてご使用ください。
真空チルドのドアがきちんとしまらないことがあります。
※ビタミンカセットの定期的な交換は不要です。

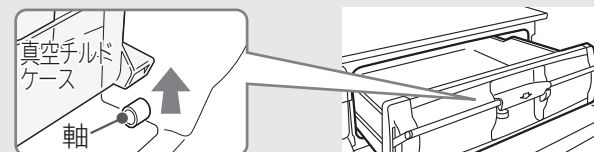
お手入れのしかた

●お手入れは月1回

真空チルドケース

■はずしかた

●ドアを手前いっぱいに引き出します。

1 真空チルドケースの手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずします。

2 真空チルドケースを滑らせるように引っぱり出します。

●真空チルドケースを水洗いする際にはビタミンカセットを必ず取りはずしてください。

■取り付けかた

1 真空チルドケースを滑らせるように本体の中に入れます。

2 真空チルドケース手前の軸受けとドアの軸を合わせて取り付けます。

真空パッキン

1 ドアを手前に引き出し、真空チルドケースをはずしてください。(左参照)

2 真空パッキンと真空パッキン受け部を、やわらかい布にぬるま湯を含ませて、ふいてください。

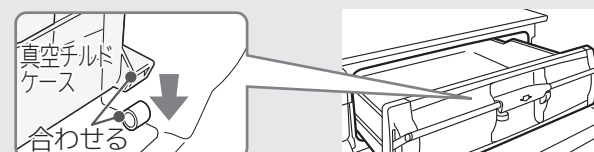
■ふいても真空パッキンの汚れが落ちないときは取りはずして水洗いをしてください。

3 向かって右上の真空パッキンのつまみに手をかけてていねいにはずします。

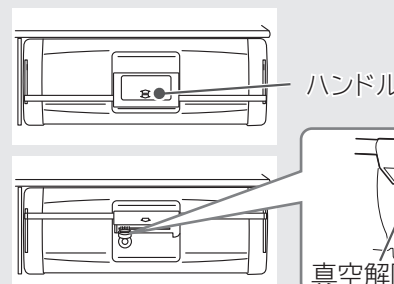
4 汚れた部分を柔らかいスポンジなどで水洗いし、乾いた布などで水気を十分にふき取ってください。

5 ドアの真空パッキン取付溝の汚れをふき取ってください。

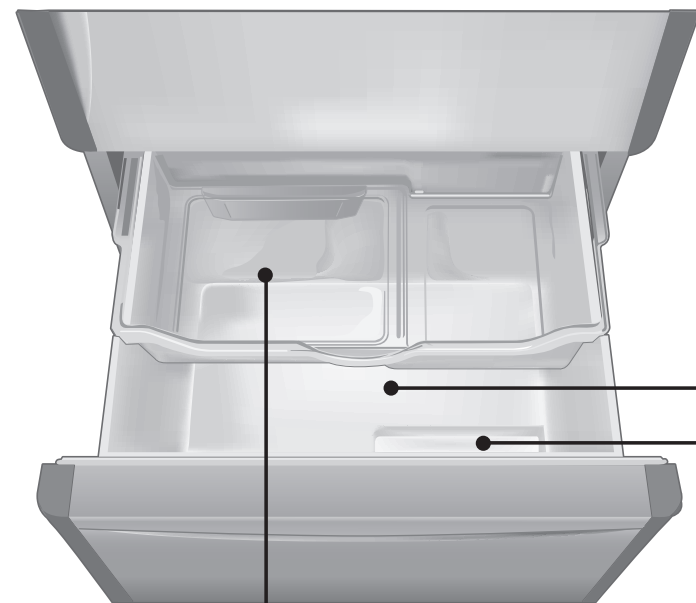
6 真空パッキンのつまみをドアの切り欠きに合わせてしっかりと取り付けてください。

7 真空チルドケースを取り付けてください。(左参照)

ご注意
●真空チルド内部に露などの水滴がたまったときは、乾いた布でふき掃除をしてください。
●ぬるま湯以外の洗剤などを使用すると部品が破損・変形・変色し、真空状態を保持できなくなることがあります。
●周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍結することがあります。
●真空チルドケースと真空パッキン以外は、はずさないでください。
●水や食品汁をこぼしたときは、すぐにふき取ってください。

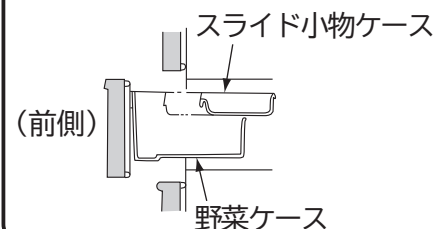
真空解除弁

■ハンドルを上げてロックをはずすと、真空解除弁により真空状態が解除され容易に開閉ができるようになります。

ご注意
●真空解除弁(青色)がはずれたり、緩んでいると真空チルドが正常に動作しません。
→ハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。
●真空解除弁に食品かすやごみなどが付着していたり、汚れたりしていると真空チルドが正常に動作しません。
→ごみなどは取り除いてください。汚れはふき取ってください。

●真空チルドでお困りの時は… ➔ P.23「お困りのとき」をご覧ください。
●真空パッキンが古くなり、真空が引けなくなったら交換してください。
●交換用真空パッキンのご注文　部品番号：R-Y6000 321 をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。

野菜室

野菜ケース

●野菜ケースには12kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

●野菜ケースに食品を入れるときは、スライド小物ケースの下面より上に食品が出ないようにしてください。食品やスライド小物ケースを破損することがあります。

スライド小物ケース…果物や小物野菜の貯蔵に。

●スライド小物ケースをはずして使わないでください。野菜室の温度が低くなり、また、高湿を保てなくなります。
●スライド小物ケースには4.3kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

ボトルコーナー

●2Lのペットボトル・ビール大ビンを立てて収納できます。

⚠注意

■ **野菜室の扉を閉めるときは上面を持たない**

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

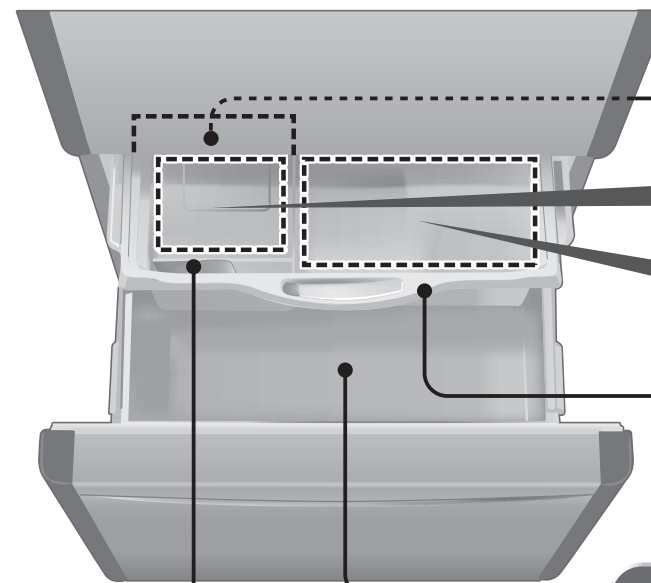
⚠警告

■ **野菜室扉を引き出した状態で扉に乗ったり ぶらさがったりしない**

冷蔵庫が倒れたり、扉がはずれたりしてけがをすることがあります。

お願い

- 野菜の量や種類によって、スライド小物ケースの底面や野菜室天井に結露することがあります。
  気になるときは乾いた布でふき取ってください。
- 水洗いした野菜は、よく水気を切ってから入れてください。
- 長ねぎ・にら・わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるものは、ラップをして保存してください。
- 野菜室に入れた野菜が乾燥する場合は、ラップをしてください。
- 周囲温度が5℃以下のとき、野菜ケース底面が凍結する場合は、冷凍室ダイヤルを“弱”にしてください。
- 野菜室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと、たて収納コーナーの食品(ペットボトルなど)が転倒することがあります。
- ペットボトルの種類により、収納できない場合があります。
  また、ペットボトルのキャップを確実に閉めないと収納できない場合があります。

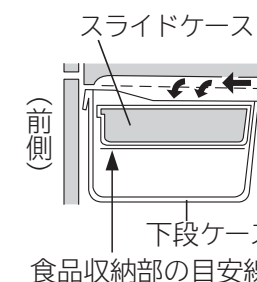
冷凍室

自動製氷機
貯氷コーナー
急速冷凍コーナー

スライドケース

●スライドケース内には4.6kg以上のものを入れないでください。
ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

下段ケース

大きな食品や長期間貯蔵する食品を入れます。

●下段ケースには11kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
●下段ケースの目安線より上に、食品が出ないようにしてください。食品がスライドケースに当って、扉が確実に閉まらなくなり冷えが悪くなります。また、食品やスライドケースを破損することがあります。

アイススコップ

●アイススコップは所定の位置に倒して置いてください。(☞16ページ)
立てて置くと、半ドアになったり、ケースや製氷機を破損することがあります。

急速冷凍

ホームフリージングやまとめ買いしたときに。

1 スライドケースに食品を入れる。

2 急速冷凍ボタンを押す。

3 あとは待つだけ！
（約2時間で「急速冷凍」運転を自動終了）

4 途中で止めるときはもう一度急速冷凍ボタンを押す。

- 「急速冷凍」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
  扉の開閉をなるべく少なくすることをおすすめします。
- 「急速冷凍」終了後の60分間は、再度急速冷凍ボタンを押してもランプは点灯しますが、運転は行いません。60分経過後、運転を開始します。
- 薄肉等の食品を入れるときには、ラップをしてください。密着する場合があります。

お知らせ

- 霜取り中は急速冷凍のランプは点灯しますが、運転は行いません。霜取り終了後、自動的に運転を再開します。
- 急速冷凍時は庫内ファンの回転数を増しているため、運転音が大きめになります。

こんなときは

- 周囲温度が高い夏場などは、急速冷凍の効果が少なくなる場合があります。

自動製氷機の使いかた

給水タンク
自動製氷機

■給水タンクに水を入れ、セットするだけで氷ができます。一定量の氷がたまると、自動的に止まります。

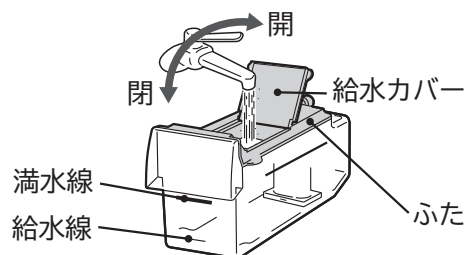
氷のつくりかた

使いはじめや1週間以上使わなかった場合、においやほこりが付いていることがありますので、給水経路や製氷皿のおそうじを実施してください。(☞ **17** ページ)

給水タンクを取り出します。

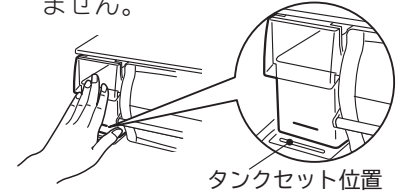
- 給水タンクは、はずれ防止のため少し固めに取り付けています。
  はずしにくい時は手前を少し浮かせて引いてください。

給水カバーを開け、水を入れます。

- 「満水線」まで水を入れてください。満水線以上に水を入れると、ふたの周りから水が漏れます。

お願い

- 水道水をそのままご使用ください。井戸水や浄水器などで塩素分などを取り除いた水やミネラルウォーター、一度沸騰させた水をご使用の場合は、雑菌が繁殖しやすくなるため、こまめにお手入れをしてください。(おそうじは☞ **17** ページ)
- ミネラルウォーターをお使いの場合は硬度100mg/L以下のものをお使いください。

③ 給水タンクを「タンクセット位置」の奥まで確実に押し込みます。

- 給水タンクの押し込みが不十分の場合は、給水されず製氷できません。

④ 給水タンクの水が「給水線」までなくなったら水を補給します。

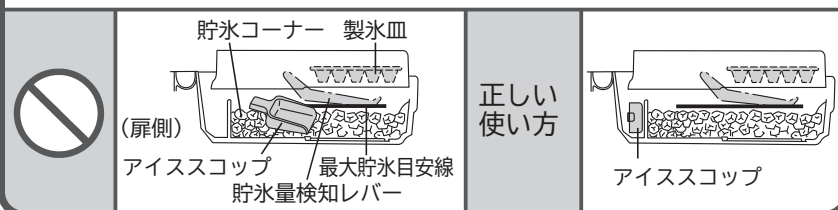
⚠警告

■ 自動製氷機の機械部には手を触れない

●製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

氷の保存について

- 氷の量は自動製氷機の貯氷量検知レバー(通常は見えません)が自動的に検知します。氷が一定量になると製氷を自動停止し、少なくなると製氷を再開します。
- 最大貯氷目安線は、氷をたいらにならして製氷したときの貯氷量の目安線です。氷が部分的にたまると、早期に検知レバーが氷に当たり、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。
- 氷の量を正しく確認するため、氷は平らにならし、アイススコップは所定位置に倒して置いてください。
- 貯氷コーナーには冷凍食品などを入れないでください。製氷を停止することがあります。

正しい使い方

製氷時間と製氷能力について

- 製氷時間は、1回約150分かかります。氷の量は約70個、氷をならすと約120個収納できます。(周囲温度30℃、扉開閉なしのとき)
  1回の製氷で、10個の氷ができます。
- 次のようなときには、製氷時間が長くなります。
  - 冷蔵庫の使いはじめは、庫内が十分冷えてから給水・製氷の動作に入りますので、約6～8時間かかります。夏場など周囲温度の高いときには、24時間以上かかることがあります。
  - 扉開閉が多いときや、多量の食品を一度に入れたとき。
  - 冬場など周囲温度が低いときや、製氷の途中で停電などがあったとき。
  - 「製氷停止」から「自動製氷」に切り替えたとき。
    貯氷コーナーの氷が一定量になると自動的に製氷を停止しますが、製氷機は氷の量を確認する為に一定の時間間隔で動作します。

お願い

- **給水タンクの取り付けは、給水タンクの「給水」と「満水」表示側を手前にして取り付けてください。**
- **給水タンクには、水以外は絶対に入れないでください。**
  〔ジュース・お湯などは故障や変形の原因になります(耐熱温度50℃)〕
- 貯氷コーナーに水を入れて氷をつくらないでください。ケースが割れることがあります。
- 周囲温度が5℃以下の場合、給水タンクの水が凍ることがあります。このようなときは、氷を取り除いて水を入れなおし、冷蔵室の温度調節を「弱」にしてください。(☞ **9** ページ)
- 冷凍室扉を強く開閉したときには、氷が容器の奥に落ちることがありますので、ゆっくりと開閉してください。

急速製氷

急いで氷をつくりたいときに。

1 給水タンクに十分水が入っていることを確認する。

2 急速冷凍ボタンを押す。

3 あとは待つだけ!(約2時間で「急速製氷」運転を自動終了)

4 途中で止めるときはもう一度急速冷凍ボタンを押す。

- 「急速製氷」運転中の製氷時間は1回約90分、(10個)です。
  (周囲温度30℃、扉開閉なしのとき)
- 「急速製氷」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度が上がりやすくなります。扉の開閉をなるべく少なくすることをおすすめします。
- 次のようなときはランプは点灯しますが「急速製氷」運転は行いません。
  ・自動製氷の設定が「停止」「製氷おそうじ」中、または「停止」から「運転」に切り替えた直後。
  ・「急速冷凍」または「急速製氷」終了後から60分間。
  ・給水タンクに水がないときや、貯氷コーナーの氷がいっぱいのとき。

自動製氷機の設定切り替え

冷蔵室内の操作パネルの製氷ボタンで、自動製氷機の設定を切り替えられます。

- 製氷ボタンを押すごと、操作音が鳴り「製氷ランプ」が点灯(製氷運転)↔消灯(製氷停止)に切り替わります。

自動製氷機で氷をつくるときは

製氷運転(ランプ点灯)

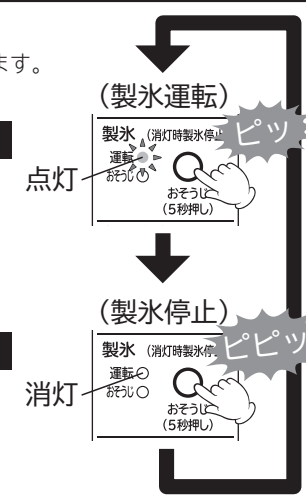
給水タンクに水を入れ、セットするだけで、貯氷コーナーに氷ができます。
一定量の氷が貯まると、自動的に止まります。

- 製氷運転中は「製氷ランプ」が点灯します。
- お買い上げ時は製氷運転に設定されています。

冬期など長期間氷がいらないときは

製氷停止(ランプ消灯)

製氷を停止します。タンクをよく洗い、乾かして所定の位置に戻してください。

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後は製氷運転の状態に戻ります。
- 製氷停止から製氷運転に切り替えた直後は、給水パイプ凍結防止ヒーターの予熱運転を行うため、製氷時間が長くなります。

製氷おそうじ機能の使いかた

使いはじめや1週間以上使わなかったときは、製氷皿や給水路のにおいやほこりをおそうじしてください。

準備

1 冷凍室の貯氷コーナーを空にする。

2 給水タンクに水を入れ、所定の位置にセットする。

3 冷凍室の扉を閉める。

おそうじ

4 操作パネルの製氷ボタンを、"ピーッピーッピーッ…"と鳴るまで"約5秒"押しつづける。

おそうじを行う間、「製氷おそうじランプ」は点灯し続け、連続的にアラームは鳴り続けます。

5 約3分後、ランプが消灯し、アラームが鳴り終わっておそうじ完了。ピピピピッ

かたづけ

6 貯氷コーナーにたまった氷や水を取り除く。

7 乾いたタオルで貯氷コーナーをふき、元の位置に戻す。

お願い

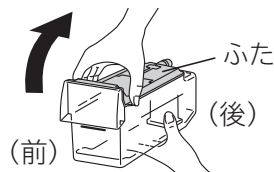
- 「製氷おそうじ」中に冷凍室を開けると動作を中断する場合がありますので、アラームが鳴り終わるまで、扉を閉めたままお待ちください。(扉を途中で開けないでください。)
- 貯氷コーナーにたまった氷や水を、「スライドケース」をはずして捨てるときには水こぼれにご注意ください。
  (「スライドケース」のはずしかた・取り付けかたは(☞ **21** ページ)を参照ください。)

給水タンクのお手入れ

給水タンク
自動製氷機

「ぬめり」や「水アカ」の発生を防ぐため、給水タンク各部は必ず週１回水洗いをしてください。

- 長期間氷をつくらないときは、必ず給水タンク各部をよく乾燥させて冷蔵室の所定の場所に戻してください。特に浄水フィルターはよく乾かしてください。自動製氷機の設定を「製氷停止」にすることをおすすめします。（☞17ページ）
- 自動製氷機の設定を「製氷停止」にしない場合、ときどき給水ポンプの運転音がしますが、異常ではありません。

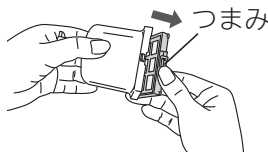
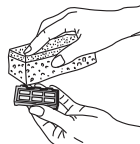
● ふたの開けかた
ふたの手前側を持ち上げるように矢印の方向へ開けてください。

● ふたの閉めかた
ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。

浄水フィルター

1 ケースを矢印の方向に回し、ふたからはずす。

ふた
ケース

2 ケースの下側を指で押さえながら、浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってはずす。

つまみ

3 柔らかいスポンジで水洗いする。

●台所用中性洗剤・漂白剤などは使用しない。
●破れやすいので棒などではつつかない。

浄水フィルターの交換

- 古くなったら交換してください。（約3～4年が目安です）
- **交換用浄水フィルターのご注文**
  部品番号：RJK-30をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。

こんなときには（自動製氷機）

こんなとき	お調べください
製氷しない 氷の量が少ない	●給水タンクに水が入っていますか？ ●給水タンクが奥まで正しく入っていますか？ ●給水タンクの水が凍っていませんか？ 凍っている場合、冷蔵室温度調節を「弱」にしてください。 ●浄水フィルターが古くなっていませんか？ ●アイススコップは正しい位置にありますか？ ●貯氷コーナーに食品など氷以外のものを入れていませんか？ ●自動製氷機を「製氷停止」にしていませんか？ ●停電はありませんでしたか？ ●使いはじめなど冷凍室が十分冷えていないときは、氷ができるまでに約6～8時間、夏場は24時間くらいかかることがあります。 ●扉をひんぱんに開けたり、多量の食品を一度に入れませんでしたか？ ●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？
氷が丸くなる 小さくなる つながっている 突起ができる	●長期間、貯氷したままになっていませんか？ ●扉をひんぱんに開けたり、長時間開けたままにしていませんか？ ●給水タンクの水がなくなったり、水を補給したときの最初の氷はつながったり、小さくできることがあります。氷がつながっている場合は、付属のアイススコップで離してください。 ●停電になったことがありませんか？ ●均一な氷をつくるために、製氷皿には水路を設けています。この水路が氷の端に突起として残ります。 突起
氷がにおう	●給水タンクが汚れていたり、水が古くなっていませんか？ ●浄水フィルターをはずしていませんか？ ●浄水フィルターが汚れていたり、古くなっていませんか？ ●お手入れに洗剤や、漂白剤などを使用していませんか？ ●においの強い食品をラップしないで入れていませんか？
氷に白いにごりがある	●もともと、水の中に溶け込んでいた空気の微細な気泡が、氷の中に閉じこめられた為です。 ●ミネラルウォーターや井戸水で製氷していませんか？ ミネラル分の多い水で製氷すると、白色の浮遊物（カルシウム結晶）ができることがあります。害はありません。

お手入れのしかた

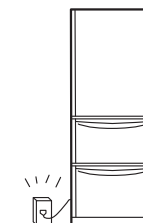
■月に１回はお手入れを。

お手入れのしかた

1. 電源プラグを必ず抜き、点検をします。
   ①電源コードに傷がありませんか？
   ②電源プラグが熱くなっていませんか？
2. やわらかい布にぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませてふいてください。中性洗剤でふいた後は、水ぶきしてください。
   ●本体や庫内に水をかけないでください。
3. お手入れ後、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

庫内が冷えている場合には、電源プラグを抜いたあと、すぐに差し込んでも10分間は圧縮機の運転をしません。

ただし庫内が冷えていない場合は、約10秒で運転を開始します。

●不審な点がありましたら、すぐにお買上げの販売店へご連絡ください。

お手入れのポイント

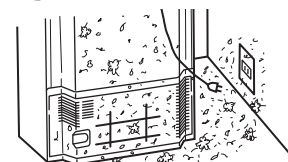
棚・ドアポケット・ケースなど

はずして、水洗いしてください。

ホコリを取るところ（年1回程度）

1. 傷の付きやすい床では保護用の板などを敷いてから、冷蔵庫を静かに手前に引き出してください。
2. 背面・壁・床の汚れをふいてください。
   ●背面はほこりがたまったり、空気の対流により細かいほこりが付着して黒く汚れやすいところです。

ドアパッキング

汚れやすいところです。下側もよくふいてください。

汁受け

汚れや汁がたまったら、ふき取ってください。

⚠注意

■ **冷蔵庫の底面に手を入れない**
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

●もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠警告

■ **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない**
感電の原因になります。

■ **電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。

■ **電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。

■ **水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

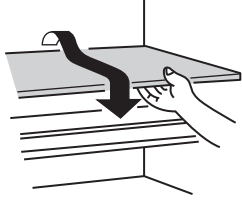
お願い

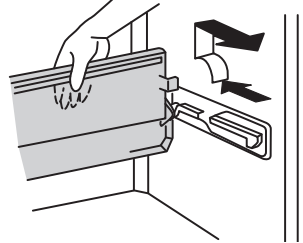
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- 食品などの汁が扉表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。
- **化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。**
- 次のものは使わないでください。
  ・台所用洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」欄に、アルカリ性または弱アルカリ性と記載されている洗剤。（プラスチック部品が割れたりプラスチック表面を黄変させることがあります。）
  ・みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤など。（塗装面やステンレス表面、プラスチックなどを傷めたり変色させることがあります。）

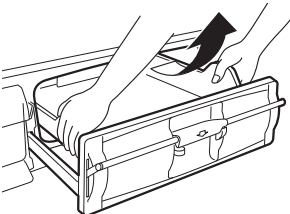
部品のはずしかた・取り付けかた

■ 取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。
■ 冷蔵室の部品の取りはずし・取り付けの際は扉を90度以上開いてください。

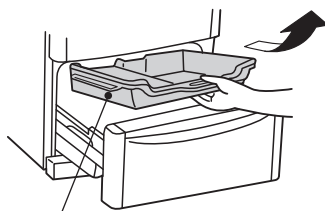
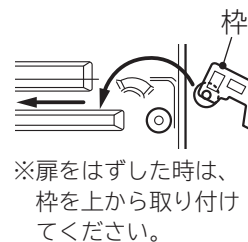
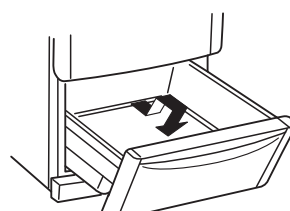
高さかわるん棚(最上段)/うすいん棚(2,3段目)

左右の奥を引っ掛けてありますので、奥を少し持ち上げ、手前に引き出します。
取り付けるときは、奥面に当たるまで押し込んでください。

たためるん棚

棚を奥に立てて上に持ち上げます。

真空チルドケース

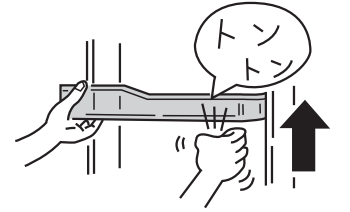
手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずし手前に引っぱり出す。
詳しくは P.13

ご注意
ビタミンカセットは水洗いできません。

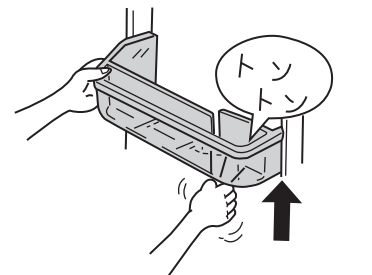
下段ケース・スライドケース

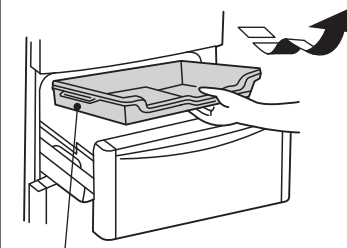
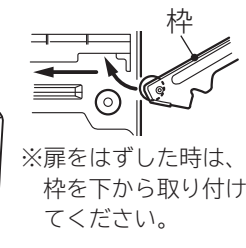
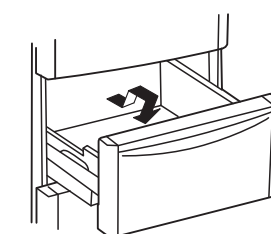
❶ 扉を開け、図のようにスライドケースを引き出します。

❷ 扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を床に着けます。

※扉をはずした時は、枠を上から取り付けてください。

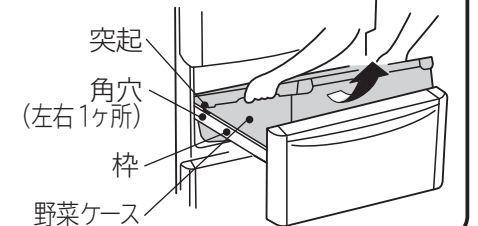
❸ 下段ケースを図のように持ち上げます。取り付けの際は、ケース左右前側の突起を扉枠の角穴に入れ、ケースふちで枠を抱え込むようにセットしてください。

高さかわるポケット(上段左)/ポケット(上段右・中段大・中段小)

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

ジャンボダブルポケット

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

野菜ケース・スライド小物ケース

❶ 扉を開け、図のようにスライド小物ケースを引き出します。

❷ 扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を傾けます。

※扉をはずした時は、枠を下から取り付けてください。

❸ 野菜ケースを手前に持ち上げます。取り付けの際は、ケース左右奥側の突起を扉枠の角穴に入れ、ケースふちを枠の上に乗せるようにセットしてください。

お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様ご相談窓口にご連絡ください。

お使いはじめによくあるお問い合わせ

お使いはじめに よく冷えない 製氷できない	●夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。 →設置直後は、**約4～24時間以上**かかることがあります。 ●お使いはじめは、庫内が冷えてから製氷運転を開始するために時間がかかります。 食品の量やつめかたにより、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることがあります。 →ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくしてください。 →食品はすき間をあけて収納してください。

こんなとき		お確かめください。こんな理由です。

冷えない

冷えない 霜・露がつく アイスが やわらかい	食品の収納状況を確認	●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ →ドアを閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？ →収納できる食品の高さを守り、ドアの開閉に影響しない量を収納してください。 →食品はすき間をあけて収納してください。 ●スライド小物ケース、スライドケースがきちんと取り付けられていますか？ →きちんと取り付けてください。➔P.14,15
	設置を確認	●冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。 正しく設置されているかご確認ください。➔P.6
	設定温度を確認	●温度設定が「弱」になっているとよく冷えない場合があります。 →よく冷えない部屋の設定温度を「中」または「強」に変更してください。➔P.9 ●夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？ →よく冷えない部屋の設定温度を「強」に変更してください。
	冷蔵庫の使い方を確認	●冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めがひんぱんまたは長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてみましょう。

霜や露がつく

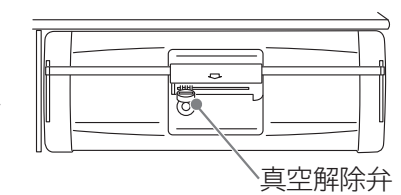
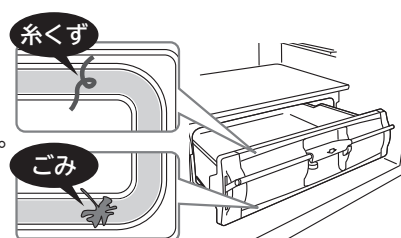
庫内やドア・引き出しの枠に霜や露がつく	●一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。 →引き出しやドアを閉める際はぴったりしまっているか確認しましょう。 ●開け閉めの回数が多いとき、長時間開け続けた可能性があります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてみましょう。
冷蔵庫の外側に露がつく (外装、ドアパッキング、ドア、引き出しなど)	●雨の日など屋内の湿度が高いときは露がつくことがあります。 ●外の暖かい空気が庫内やドア枠に触れると霜や露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。
野菜室の中が結露する	●野菜室は他の部屋より湿度が高くなっています。(野菜を乾燥させずに長持ちさせるため) →気になるときはラップをかけて収納してください。 ●結露が多くなると野菜室のケースなどに水が溜まる場合があります。 →乾いた布でふき取ってください。

冷え過ぎる

冷え過ぎる 凍ってしまう	●温度調節が「強」になっていませんか？→「中」にしてください。➔P.9 ●周囲温度が5℃以下ではありませんか？→温度調節を「弱」にしてください。➔P.9 ●冷気吹き出し口の手前には置かないでください。➔P.10

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

真空チルドが気になる

「真空チルド」表示が点滅するとき 	真空機能が正常に動作していないことがあります。つぎのことを確認してください。 ●ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしていますか？ →ロックされていないと真空になりません。 ●真空パッキンと受け部の間に食品の袋、糸くずなどのはさまりはありませんか？ →わずかな食品カスがはさまっていても真空になりません。取り除いてください。 ●真空パッキン・真空パッキン受け部の汚れはありませんか？ →汚れているときはふき掃除をしてください。➔P.13 ●真空解除弁(青色)がはずれたり、緩んでいませんか？ →ハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。
開けるとき、 「シュー」と音がしない 	●真空パッキン部に食品の包装などがはさまったり、汚れや糸くず、ごみが付着していたりしていませんか？➔P.13 →食品の包装がはさまったときは、取り除いてください。 →汚れた真空パッキンはお手入れしてください。 ●真空パッキンやハンドル下部にある真空解除弁(青色)がはずれたり、緩んでいませんか？ ●「真空チルドランプ」は点灯していますか？ ●ハンドルが上に上がっていませんか？ ●真空チルドルーム開閉直後は、真空ポンプが動作を始める準備状態となるため「シュー」と音がしないことがありますが、故障ではありません。
真空になっているかわからない	●開けるときに「シュー」と真空解除音がすれば、正常です。
ハンドルのロックができない	●真空パッキン部や真空チルドケースの奥に食品などがはさまっていませんか？➔P.13 ●真空チルドケース手前とドアがはずれていませんか？
真空チルドルームの周りからの「ブーン」という音と振動がする	●真空にするためのポンプの動作する音です。特に野菜室扉を開けたときには音が大きく聞こえることがありますが、異常ではありません。 ●夜間など音が気になるときは、真空ポンプの動作を停止することができます。 ●音や振動がひんぱんにあるときは、ドアに物がはさまっているか真空パッキンが汚れている場合があります。➔P.13
真空チルドルームの内部やドア周辺に水滴や霜がつく	●真空チルドルームは密閉しているために水分の多い食品を保存したりすると水分が蒸発し、ルーム内に露や霜がついたりします。 →水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。 →水滴や霜が付いた場合は乾いた布でふき取ってください。
真空チルドルームの食品が凍る	●ナスやキュウリなど低温に弱い野菜を収納していませんか？➔P.10

においが気になる

氷がにおう	●給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？ →「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。 ●水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。
庫内がにおう	●においの強い食品をそのまま収納していませんか？ →脱臭機能は全てのにおいを完全に取り除くことはできません。 ラップをかけるなど密封して収納してください。
プラスチックのにおいがする	●庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。

お困りのときは ～つづき～

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

音が気になる

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
冷蔵庫から聞こえる音がうるさい	●正しく設置されていない可能性があります。 原因／処置： ・床がたわんでいる → 丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。➔P.6 ・冷蔵庫が壁や家具などに当たっている → 冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。 ・脚カバーがはずれている → 脚カバーをしっかり取り付けてください。➔P.6 ●ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときはコンプレッサーが高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。 →十分に冷えれば音は小さくなります。
運転音が長い	●コンプレッサーをゆっくり運転させて、省エネ運転をしているためです。
ときどき音が大きくなる	●庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているためです。
その他 このような音が聞こえたときは	●次のような音は正常な動作のときに発生するもので、異常ではありません。

原因	処置
床がたわんでいる	丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。➔P.6
冷蔵庫が壁や家具などに当たっている	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。
脚カバーがはずれている	脚カバーをしっかり取り付けてください。➔P.6

音の種類	音の発生源
・水の流れるような音（チョロチョロ） ・衝突するような音（コツコツ） ・沸騰するような音（ボコボコ） ・肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、霜取りの際に水が流れる音、蒸発する音です。
・きしむような音（ピシッ） （コトン）	冷蔵庫の温度が変化するときや、真空チルドルームの気圧が変化するとき部品がきしむ音です。
・何か引っかかるような音（コトコト） ・うなるような音（ブー） ・扉を閉めた直後の音（ブーン） ・野菜室扉を開けているときの音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品や真空ポンプが動作する音です。
・自動製氷機の音 （ギュイーン） （ガラガラ） （ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿から氷が離れるときや製氷皿に水を入れるときの音です。給水タンクが空のときも２時間ごとに音がします。 自動製氷機の設定を「製氷停止」にすると音がでなくなります。➔P.17
・ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転を始めるときの音です。

その他

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
冷蔵庫の側面が熱くなる 足元から暖かい風が出る	●冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。 →設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。 安全および性能上問題はありませんが、手はふれないでください。
ドアを閉めた直後開けようとすると重い	●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。
ドアを閉めると他のドアが開く	●各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。

冷凍室の性能／こんなときには

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ＊＊＊＊（フォースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。

- 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。（☞ **9** ページ）
- 冷蔵庫の設置場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
- 冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記　　号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

こんなときには…

塗装面に傷が付いたときは

放っておくと、さびや塗装のハガレなどが発生しますので、早めに処置してください。
【簡単な処置方法】※さびは紙やすりなどで落としてから
○小さな傷は、テープを貼る。
○大きな傷は、防水性の壁紙を貼る。

停電したときは

扉の開閉を減らし、新たな食品の保存はさけてください。

長期間使わないときは

電源プラグを抜いてから庫内や自動製氷機のおそうじをし、2～3日間扉を開けて乾燥させてください。
（☞ **18, 19, 20, 21** ページ）
●特に給水タンク内の浄水フィルターは、よく乾燥させてください。

霜取りは

冷却器についた霜は自動的に解けます。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
霜取り操作は不要です。
●JIS（日本工業規格）では、霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が5℃以下と規定されています。

移動・運搬のしかた

移動・運搬のまえに

1 庫内の食品を取り出す。

2 自動製氷機の水を抜く。

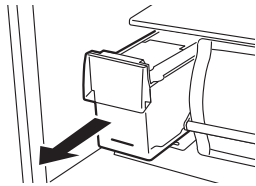
3 給水タンクの水をすて、空にする。

4 電源プラグを抜き、アース線をはずす。

5 調節脚を上げる。
（☞ 6 ページ）

自動製氷機の水抜き

■ 自動製氷機の製氷皿に残っている氷や水を取り除きます。

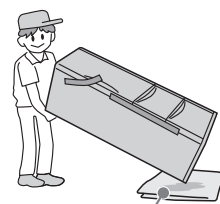
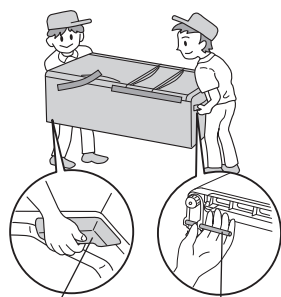
① 給水タンクをはずし、冷凍室の扉を閉める。

② 操作パネルの製氷ボタンを“ピーッピーッピーッ…”と鳴るまで“約5秒”押しつづける。

③ 約3分後にアラームが止まったら貯氷コーナーにたまった氷や水を取り除く。

④ 乾いたタオルで貯氷コーナーをふき、元の位置に戻す。

⚠注意

■ **冷蔵庫を移動・運搬するときは、通路に防護シートなどを敷いてから行ってください。**

冷蔵庫内部の蒸発皿（外部から見えません）及び給水タンク内に水が残っていると、移動・運搬時に水が床面にこぼれることがあります。
大きめの古布などを置き、冷蔵庫を後方に倒して、水抜きをしてください。

移動・運搬のとき

- 扉が開かないように、テープでしっかり固定してください。
  扉の側面に、塗装（メタリック）が施してあるものについては、テープの下に紙などを当てて、粘着剤が塗装部につかないようにしてください。
- 2人以上で運搬してください。
- イラストのように扉を上にして運搬してください。
- 引き出し式扉の取っ手を、運搬時に使わないでください。破損の原因になります。
- 車などで運搬の際は、横積みをしないでください。圧縮機の故障の原因になります。
- 取っ手（手かけ部）をクレーン等で吊らないでください。落下する恐れがあります。
- 冷蔵庫底面のシール材は、放熱効率を上げるための部品ですので、取らないでください。

⚠警告

■ **背面・側面などをぶつけたり傷付けたりしない**

壁内の配管から冷媒が漏れ出すと、火災・爆発の原因となります。

保証とアフターサービス／お客様ご相談窓口

（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、**食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。**

保 証 期 間

お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはTEL0120-3121-68にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

22～24ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **ご連絡していただきたい内容**
アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　　名	日立冷凍冷蔵庫
型　　式	R-S37BMV・R-S37BMVL R-S37BMV-1（ハイフン・イチ）・R-S37BMVL-1（ハイフン・イチ） （冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　　）　　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■ **保証期間中は**
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ **保証期間が過ぎているときは**
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ **修理料金のしくみ**
修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談はエコーセンターへ
TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
（受付時間）9：00～19：00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ
TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
（受付時間）9：00～17：30（月～土）・9：00～17：00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。